

# わたしのすきな絵本

「今月の一冊 ～わたしのすきな絵本～」(3月)

<ご紹介者>

矢祭町長 佐川 正一郎

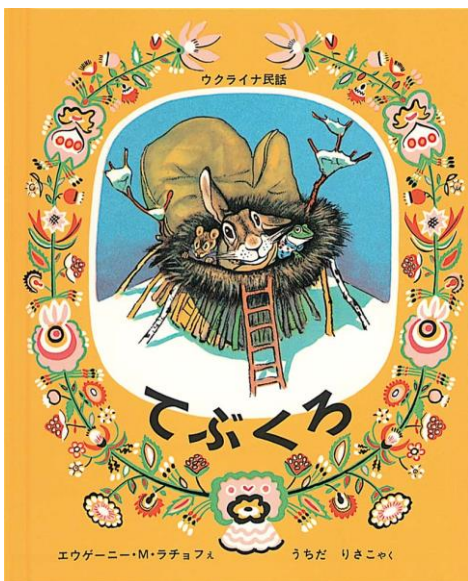
矢祭町子ども読書の街づくり推進委員会委員長



## 『 ウクライナ民話 てぶくろ 』

エウゲーニー・M・ラチョフ 絵／うちだりさこ 訳／福音館書店

対象年齢：読んであげるなら：3歳から、自分で読むなら：小学低学年から



今、世界中でロングセラー絵本“てぶくろ”が注目を集めています。平和を願う思いと、早く平和が戻ってほしいと強い願いがあると思います。

おじいさんが森に落とした手袋の中に、次々と動物たちが入っていくお話です。

外は寒く雪が降っています。ネズミさんから始まり、カエル、ウサギ、キツネ、オオカミ、イノシシ、クマさんが入ってきます。リズム感のあるテンポが気に止まります。

共生する大切さや、外は寒いので狭くても中に入れてやろうとする思いやりを感じます。

絵本は、考える時間や夢を与えてくれます。ウクライナの平和を祈り、家族で読んでください。

### 内容のご紹介

**動物がみんなで入って、手袋の中は満員！**

おじいさんが森の中に手袋を片方落としてしまいます。雪の上に落ちていた手袋にネズミが住みこみました。そこへ、カエルやウサギやキツネが次つぎやってきて、「わたしも入れて」「ぼくも入れて」と仲間入り。手袋はその度に少しずつ大きくなっていき、今にもはじけそう……。最後には大きなクマまでやって来ましたよ。手袋の中はもう満員！そこにおじいさんが手袋を探しにもどってきました。さあ、いったいどうなるのでしょうか？

(海外絵本)

参考文献:福音館書店 紹介文 (矢祭もったいない図書館)